



学生交流活動

グリフィス大学ESLのクラスメイトと留学を通して生まれた夢や目標を語り合いました。

多様な国際交流の機会を提供

岐阜大学が進める国際化において学生間の交流が果たす役割は、多様性や異なる言語・文化、考え方の違いなどの学びを得る貴重な機会を提供することです。国際的に活躍できる力を身につけた学生さんを一人でも多く輩出できればと考えています。

地域に根ざした国際化を掲げるグローバル推進機構の留学推進部門では、学生の国際交流の機会を提供する取り組みを行っています。そのうちのひとつが、本学と大学間学術交流協定を結ぶ海外大学の学生を受け入れ、地域の特色を学ぶサマースクールです。毎年10名程度の学生が

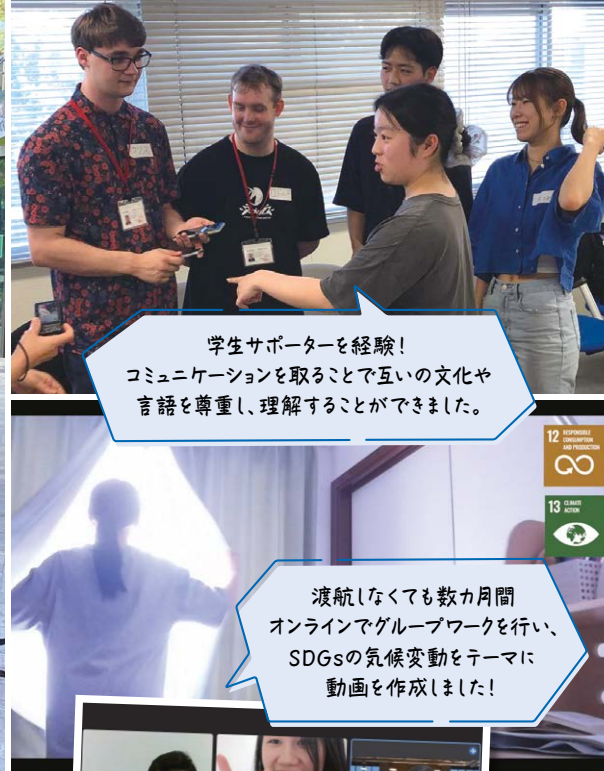
来日してこのプログラムに参加します。岐阜大学の学生にプログラム運用のボランティア的な役割を担ってもらうことで、学生同士の交流の機会を増やす工夫をしています。

また、本学の在学生向けには、夏休みや春休みを利用してカナダのアルバータ大学、オーストラリアのグリフィス大学などの海外協定大学や、カリフォルニア大学デービス校において提供される英語研修に参加する、短期留学プログラムを毎年実施しています。英語研修はESL（一般英語研修）と呼ばれる一般的なものと、EST（理系英語研修）と呼ばれる理系学生向けのものがあり、多くの学生が参加しています。ESLやESTは英語を母国語としない人向けの語学研修のため、現地の学生との接点は限られてしまいます。そこで、現地の職員と協力し、留学先の大学生との交流の場を設けるなど、学生同士の接点を増やすように努めています。

今後も、学生の派遣および受け入れの両方で、留学機会のさらなる展開とプログラム内容の充実を図っていきたいです。ただ、留学したい

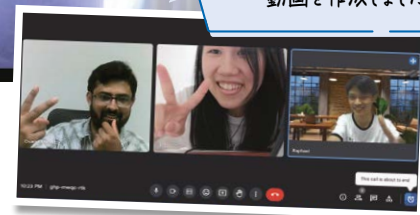
岐阜大学グローバル推進機構 副機構長
留学推進部門長

嶋 睦宏 教授（工学部所属）



学生サポーターを経験！コミュニケーションを取ることで互いの文化や言語を尊重し、理解することができました。

渡航しなくても数か月間オンラインでグループワークを行い、SDGsの気候変動をテーマに動画を作成しました！



と以为いても、経済的な理由で実現が難しい学生は少なくありません。そこで、サマースクールのボランティア募集などオンキャンパスでの国際交流の機会やオンラインツールを活用した国際交流の充実を図り、一人でも多くの学生が国際交流する機会をつくる工夫をしています。今年度は、アメリカの協定校である南フロリダ大学と岐阜大学の学生がオンラインで共に学べるリモート形式のプログラムを予定しており、共修の新たな取り組みとして期待しています。これからも岐阜にしながら世界とつながる機会をつくることで、地域の発展に貢献してくれる人材を育成していきたいと思っています。



本場インドのカレーに挑戦！新鮮な驚きがたまりなく楽しかったです。

日本語・日本文化教育センター

日本語・日本文化を学ぶ機会を提供

日本語・日本文化教育センターは、1995年5月に「留学生センター」という名称で発足した組織です。当初は国費外国人留学生のために日本語教育や修学・生活指導を行うことが主な目的でしたが、30年近くが経過した現在は、学内外の要請に応じて幅広い業務を行っています。メインとなるのは外国人留学生に対する日本語・日本文化教育です。留学生ができる限り短期間で高度な日本語が身につけられるよう、経験豊富な日本語教員たちがきめ細かな指導をしています。このほか、日本人学生に対する国際理解教育、多文化交流機会の提供、地域自治体との連携事業などを担っています。

留学生に対する日本語教育の柱となるのが「日本語研修コース」です。

半年から1年で高度な日本語を習得できる集中コースと、専門の勉強と並行しながら日本語を学べる一般コースの二つがあり、個々のレベルに合わせたプログラムを設定しています。また、母国で日本語や日本文化を専攻してきた留学生を対象に、1年間で集中的に日本語能力の向上を図る「日本語・日本文化研修コース」や交換留学生を対象とした「日本社会文化プログラム」なども提供。これらに加え、サマースクールやウィンタースクールなどの短期留学プログラムで実施している日本語の授業や郡上市で地域交流活動なども行っています。日本文化については、郡上踊りや能楽などに触れるワークショップを開催。日本人学生たちが留学生のチューター役を務める国際交流ラウンジなどを運営しています。

私たちが大切にしているのは、日本で学ぶ、岐阜で学ぶという価値を



岐阜県内外外国人留学生日本語弁論大会で、たくさんの留学生と交流しました！

提供することです。母国ではなく岐阜大学で勉強することの意義は、語学だけでなく文化も一緒に学べる点にあります。そこで、教科書には載らないような経験に力点を置いた教育を心掛けています。特に日本文化においては、日本人でも体験する機会があまりない本物の日本文化に触れるワークショップを提供しており、参加した留学生からの評価も非常に高いです。

岐阜大学では、積極的に新たな国・地域の大学と連携協定を結んでおり、受け入れる留学生もさらに増えます。これからも新たなプログラムを開発し、多様化するニーズに対応した柔軟かつきめ細かな日本語・日本文化教育を行っていきたいです。

岐阜大学で学んで良かったと感じてもらえる教育を増やしたい！



「雅楽」を聞いて平安時代の衣装を着たことは忘れられない経験です！



岐阜市内のイチゴ農家を訪問して、おいしいイチゴを食べました！

岐阜大学グローバル推進機構 副機構長
日本語・日本文化教育センター長

橋本 慎吾 教授